

【行徳湿地の目標とする生物】

〔鳥類〕

| 分類、細目 | 生息が確認されている種のなかで保護区を特長付ける代表種 | 保全が必要な種 | 将来生息することを目標とする種 |
|----------------|---|---|-----------------|
| 鳥類 | | | |
| 林～林縁 | 繁殖 | ヒヨドリ ^{*3} 、モズ ^{*3} 、メジロ ^{*3} 、カワラヒワ ^{*3} | 同左 |
| | 渡り | オオルリ ^{*2} 、キビタキ、コサメビタキ ^{*2} 、センダイムシクイ ^{*2} 、メボソムシクイ ^{*2} などの小鳥類 | |
| | 越冬 | オオタカ ^{*1} 、ハイタカなどのタカ類、シジュウカラ、メジロ、コゲラ、シメ、アカハラなどの小鳥類 | |
| 林縁～草原～湿地 | 繁殖 | カルガモ、イソシギ ^{*1} | シラサギ類の繁殖 |
| | 渡り | | |
| | 越冬 | ノスリ、ハヤブサ、チョウゲンボウなどのタカ類、モズ、ジョウビタキ、ツグミ、ベニマシコなどの小鳥類 | 同左 |
| 開けた水面で1m程度の深い池 | 繁殖 | カイツブリ | バン、オオバン |
| | 渡り | | |
| | 越冬 | カイツブリ、バン、オオバン、およびオカヨシガモなどのカモ類 | 同左 |
| 浅く開けた水面 | 繁殖 | | ヒクイナ、タマシギ |
| | 渡り | コチドリ、ツルシギ、タカブシギなどのシギ・チドリ類、シラサギ類 | 同左 |
| | 越冬 | タシギ | 同左 |
| 葦原 | 繁殖 | オオヨシキリ | ヨシゴイ |
| | 渡り | ヨシゴイ | 同左 |
| | 越冬 | オオジュリン、クイナ、チュウヒ | |
| 周辺緑地 | 繁殖 | カワウ、アオサギ、ヒヨドリ ^{*3} | シラサギ類の繁殖 |
| | 渡り | | |
| | 越冬 | ヒヨドリ、シロハラ、カワラヒワなどの小鳥類 | 同左 |
| 海域 | 繁殖 | | |
| | 渡り | ウミネコ、コアジサシ | 同左 |
| | 越冬 | カンムリカイツブリ、およびスズガモなどのカモ類、セグロカモメなどのカモメ類 | 同左 |
| 干潟 | 繁殖 | | |
| | 渡り | シロチドリ、チュウシャクシギなどのシギ・チドリ類 | 同左 |
| | 越冬 | | |
| 哺乳類 | カヤネズミ、アブラコウモリ | 同左 | |
| 両生類 | ニホンアカガエル、アズマヒキガエル、トウキョウダルマガエル、シュレーゲルアオガエル ^{*1} 、ニホンアマガエル | 同左 | 繁殖の安定化 |
| 爬虫類 | アオダイショウ、シマヘビ、ジムグリ、ニホンカナヘビ、クサガメ、ニホンイシガメ、ニホンスッポン、ニホンヤモリ | 同左 | 繁殖の安定化 |

【各「種」の根拠(鳥類、哺乳類、両生類、爬虫類、植生)】以下により確認された種の中から現状の生息環境を踏まえて選定した。

無印：市川市自然環境実態調査報告書2001

- *1 「行徳野鳥観察舎友の会」の会報「すずがも通信」
- *2 「よみがえれ新浜」(行徳野鳥観察舎10周年記念「すずがも通信」特集号)
- *3 平成22年度行徳鳥獣保護区調査報告書(市川市地域整備課)

〔植生〕

| 分類、細目 | 生息が確認されている種のなかで保護区を特長付ける代表種 | 保全が必要な種 | 将来生息することを目標とする種 |
|-----------|---|---------|---------------------------------|
| 植生 | | | |
| 御猟場沿いの林地 | クロマツ林の下にトベラ、シャリンバイ、マサキ、オオバイボタ、タブノキ、シロダモ | 同左 | |
| 草原部(乾燥) | ススキ、オギ | 同左 | |
| 湿地 | アシ、ガマ、ヒメガマ | 同左 | 維持 |
| 開けた水面 | ヒシ | 同左 | 沈水性植物(クロモ、イトヤナギモなど) |
| 海域と接している所 | 海岸性の植物 ウシオハナツメクサ、ホソバノハマアカザ、ウラギク | 同左 | 維持 |
| 周辺緑地 | 【緑の国】 クロマツ、照葉樹 | 同左 | |
| | 【緑の国 以外】 クロマツ | 同左 | カワウやシラサギ類の繁殖を想定し、これらの影響を受けにくい樹種 |

〔水生生物〕

| 分類 | 生息が確認されている種のなかで保護区を特長付ける代表種 | 保全が必要な種 | 将来生息することを目標とする種 |
|--------------|--|---------|-----------------|
| 魚類 | | | |
| 干潟とその周辺 | (湾奥典型種)マハゼ ^{*4*6} 、コノシロ ^{*6} 、イシガレイ ^{*6} 、ボラ ^{*4*6} 、スズキ ^{*6} 、アカエイ ^{*12} | | |
| | (希少種)エドハゼ ^{*4*6} | | |
| 塩湿地 | (希少種)トビハゼ ^{*4*6} | | |
| 淡水池 | トウヨシノボリ ^{*7} 、ウナギ ^{*6} (以上、通し回遊)、メダカ ^{*8} (希少種)、モツゴ ^{*7} 、ギンブナ ^{*7} 、ドジョウ ^{*7} 、ウキゴリ ^{*6} 、マルタ ^{*6} (以上、典型種) | | |
| 汽水池 | マサゴハゼ ^{*6} (希少種) | | |
| カニ類 | | | |
| 塩性湿地・淡水路の典型種 | クロベンケイガニ ^{*4} | | |
| 塩性湿地の希少種 | ウモレベンケイガニ ^{*4} 、クシテガニ(オオユビアカベンケイ) ^{*4} 、アリアケモドキ ^{*5} 、アシハラガニ ^{*4} 、アカテガニ ^{*12} 、ベンケイガニ ^{*4} 、フタバカクガニ ^{*5} | | |
| 干潟の典型種 | コメツキガニ ^{*4} 、チゴガニ ^{*4} 、ヤマトオサガニ ^{*4} 、マメコブシガニ ^{*4*6} | | |
| 淡水池の希少種 | (両側回遊)モクズガニ ^{*12} | | |
| アナジャコ類 | (塩性湿地の希少種)ハサミシャコエビ ^{*4*6} 、(干潟の典型種)アナジャコ ^{*4*6} | | |
| エビ類(両側回遊) | (淡水池)スジエビ ^{*7} 、テナガエビ類 ^{*7} 、ヌマエビ ^{*7} 、汽水池の希少種)シラタエビ ^{*4} | | |
| 二枚貝類 | (干潟の希少種)オキシジミ ^{*4*6} 、ハナグモリガイ ^{*9} 、ソトオリガイ ^{*4*6*9} 、サビシラトリ ^{*9} 、オオノガイ ^{*4*6*9} | | |
| 巻貝類 | | | |
| 塩性湿地の希少種 | カワザンショウガイ ^{*9} 、ムシヤドリカワザンショウ ^{*9} 、クリイロカワザンショウ ^{*4} 、カハタレカワザンショウ ^{*10} 、カワアイ ^{*4*6*9} 、フトヘナタリ ^{*11} | | |
| 干潟 | (典型種)ホソウミナ ^{*4*9} 、(希少種)ウミナ ^{*13} 、エドガワミズゴマツボ ^{*4*6*9} 、カワグチツボ ^{*4*6*9} | | |
| 多毛類 | (干潟の典型種・餌生物)ヤマトカワゴカイ ^{*9} 、ミズヒキゴカイ ^{*4*6*9} 、チロリ ^{*6*9} 、イトゴカイ類 ^{*4} | | |
| | (汽水池の希少種)イトメ ^{*13} | | |

【各「種」の根拠(水生生物)】以下により確認された種の中から現状の生息環境を踏まえて選定した。

- *4 2005年度市川市委託事業行徳内陸性湿地生物調査委託報告書 東邦大学理学部東京湾生態系研究センター・市川市(2006)
- *5 柚原・加藤(未発表)
- *6 平成16年度行徳内陸性湿地生物調査委託報告書 東邦大学理学部東京湾生態系研究センター・市川市(2005)
- *7 加納・中山(未発表)
- *8 友の会で放流したと聞いています。
- *9 東京湾奥部市川市周辺干潟浅場海域生物調査報告書 東邦大学理学部東京湾生態系研究センター・市川市(2007)
- *10 多留(私信)
- *11 2011年7月に確認 中山(未発表)
- *12 風呂田(私信)
- *13 谷津で生息が報告されており、生息が期待される種類。(風呂田利夫・鈴木嘉平・東京湾奥部谷津干潟1986-87年の冬期における底質環境ならびにマクロベントスの生息状況と垂直分布.日本ベントス学会誌, 54:36-43, 1999年.)